

平成 27 年度第 1 回 子ども・子育て会議 会議録

平成 27 年 7 月 16 日 (木) 16:00～17:00
今治市役所 第 2 別館 11 階 特別会議室 3 号

平成 27 年度 第 1 回今治市子ども・子育て会議 会議録 (概要)

- 1 日 時 平成 27 年 7 月 16 日 (木) 16:00～17:00
- 2 会 場 今治市役所 第 2 別館 11 階 特別会議室 3 号
- 3 報 告 地域子ども・子育て支援事業について
- 4 議 題 施設選定部会の設置について
- 5 出席者 **【委 員】 12 名**
 泉 浩 徳 委 員、松 井 光 委 員、野 崎 幸 子 委 員、御 堂 和 貴 委 員
 渡 邊 建 男 委 員、森 一 男 委 員、福 田 安 民 委 員、清 水 正 恵 委 員
 田 中 健 司 委 員、秋 山 辰 郎 委 員、河 北 万 里 委 員、西 原 陽 子 委 員
【事務局】 15 名
 健康福祉部長、健康推進課長、福祉政策課長、障害福祉課長
 子育て支援課長、保育課長、学校教育課長
 子育て支援課長補佐兼こども家庭相談室長、保育課長補佐
 保育課企画係長、子育て支援課こども福祉係長
 子育て支援課こども健全育成係長、子育て支援課子育て支援係長
 子育て支援課子育て支援係主査、子育て支援課子育て支援係主事
- 6 欠席者 **【委 員】 6 名**
 土井圭子委員、村上正親委員、高須泰裕委員、梶原淳一委員
 渡邊美幸委員、岡村陽子委員

7 会議内容

会 長	当会議の開会 会長挨拶
会 長	新任委員の紹介 (渡邊建男委員、田中健司委員)
渡邊委員 田中委員	自己紹介
会 長	地域子ども・子育て支援事業の報告を求める。
事 務 局	地域子ども・子育て支援事業について

	<p>平成 27 年度より始まった「利用者支援事業」を資料に基づき説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「今治市子ども・子育て支援事業計画」の基本計画である「子育て支援事業の充実」の中の「地域子ども・子育て支援事業」の一つとして始まった事業である。 ・概要としては、保護者が地域にある教育保育施設や地域の子育て支援サービスを利用しやすいよう専門のスタッフである利用者支援専門員が相談に応じたり、関係機関を紹介等を行う事業である。 ・実施場所：「ばりっこ広場」（市直営）、「ハルモニア広場」（委託） ・実施日時：平日の月曜日～金曜日、9 時～16 時 ・「子ども・子育て利用者支援事業利用のご案内」冊子の説明。
会 長	従来ので地域子育て支援拠点事業とは違ったものか。
事 務 局	従来ので地域子育て支援拠点事業の利用等の相談もあるため、専門的に対応できるよう事業化した。
会 長	委員に質問、意見などを求める。
野崎委員	相談内容の限定、それに伴う専門性などあるか。また、子どもの年齢制限などあるか。
事 務 局	対象年齢は 18 歳未満である。相談については、気軽に相談できる体制をとっている。相談内容として多いのは、日常生活、発育・発達、就園関連等である。
会 長	施設選定部会の設置について
事 務 局	<p>施設選定部会の設置について資料を基に説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的：子ども・子育て支援計画の一環として幼保連携型認定こども園及び病児保育施設の計画的な普及を図ること。 ・職務：幼保連携型認定こども園施設整備費補助金（仮称）及び病児保育施設整備費補助金（仮称）の補助対象事業者の選定。 ・幼保連携型認定こども園施設整備費補助金（仮称） <ul style="list-style-type: none"> 今治市の定めた条件の下で幼保連携型認定こども園を整備しようとする学校法人等で、子ども子育て会議によって選定されたものに対し、当該施設整備費の一部を助成するために交付される補

	<p>助金（案）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病児保育施設整備費補助金（仮称） 今治市の定めた条件の下で病児保育施設を整備しようとする医療法人等で、子ども子育て会議によって選定されたものに対し、当該施設整備費の一部を助成するために交付される補助金（案）。 ・補助金の詳細については、今後決定していく。 ・選定委員は5名で、子ども・子育て会議の委員より選出。 泉浩徳委員、野崎幸子委員、御堂和貴委員、福田安民委員 清水正恵委員 ・平成27年度のスケジュール 8月から公募し、10月にプロポーザル方式による施設選定を行う。
会 長	委員に質問、意見などを求める。
森 委 員	補助金の額と補助金の具体的な金額の説明を求める。
事 務 局	補助金の額については、国の整備補助要綱に基づいて行う。施設の規模等で額は変動する。 補助の割合 <ul style="list-style-type: none"> ・幼保連携型認定こども園施設整備費補助金（仮称） 国 1/2・市 1/4・事業者 1/4 ・病児保育施設整備費補助金（仮称） 国 1/3・県 1/3・市 1/3 補助対象基準額 400万円（案）
森 委 員	年間の予定公募数は何施設か。継続事業として何年間予定しているか。
事 務 局	幼保連携型認定こども園施設整備費補助金（仮称）については、年1箇所を検討している。継続については、地域の状況等に応じて、検討しながら適切な方法で取り組む。
森 委 員	市の構想として、どのような地域別で考えているか。
事 務 局	中学校校区を想定しているが、地域の状況に応じて、検討していく必要がある。
福田委員	病児保育について、重度の病児の場合どのように考えているか。

事務局	病児保育事業においては、家庭で保護者が仕事を休んで看護する場合等を想定している。入院等の医学的措置が必要な場合は、医師の判断でそれに応じた対応が必要となる。
福田委員	障害児を含む重度の病児については含まれるのか。
会長	専門である松井委員に意見を求める。
松井委員	インフルエンザ等の急性疾患の子どもが当該事業の対象で、慢性疾患に起因する場合は原則扱わない。重度の病児については、この事業とは別に検討していく問題である。
河北委員	プロポーザル方式とはどのようなものか。
事務局	プロポーザル方式とは、事業者の方から、施設や運営等を提案してもらい、その中から施設選定部会で選定していただく提案型の方式である。
森委員	病児保育施設整備費補助金（仮称）は、改修以外に新規の場合は対象となるのか。
事務局	県の補助要綱だと既存の建物の中の改修が対象となっている。市としてはその対象を少し広げて、医療機関への助成を検討している。
松井委員	確認ですが、今治市としては、新築の場合も対象としているのか。
事務局	今治市としては、新築の場合についても 400 万円の基準額の中で、市の財源で補助を検討している。新築は、負担額 400 万円すべてが市の負担となる。
松井委員	改修はどのようなことを想定しているのか。また、補助 400 万円となっているが、補助額を増やすことが出来るのか。
事務局	建物改修については、例えば、総合病院等のスペースを、病児保育できるよう 3～6 床ぐらい隔離できるよう改修することを考えており、補助額ぐらいの経費を想定している。

	<p>新築については、一棟新築する場合、高額で個人財産の形成にあたり、補助金は税金ですので検討していく上で制約がでてくる。また、市の財政状況を考慮し、現実的に提示できる金額がこの金額となる。</p>
田中委員	<p>選定部会の部会長はどうなっているのか。事務局はどこなのか。</p>
事務局	<p>事務局は保育課である。部会長は、部会委員の中から会長が選任するという規定を考えている。</p>
会長	<p>当会の閉会</p>

会議の経過を記載し、その内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

会長 泉 浩徳 

署名委員 細野 和貴 